

## 令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況 （島根県）

### 【調査結果の概要】

#### 1 作付面積

令和2年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は1万8,400haで、前年産に比べ200ha（1%）の減少が見込まれます。

なお、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付見込面積は1万6,800haと見込まれます。

#### 2 作柄概況

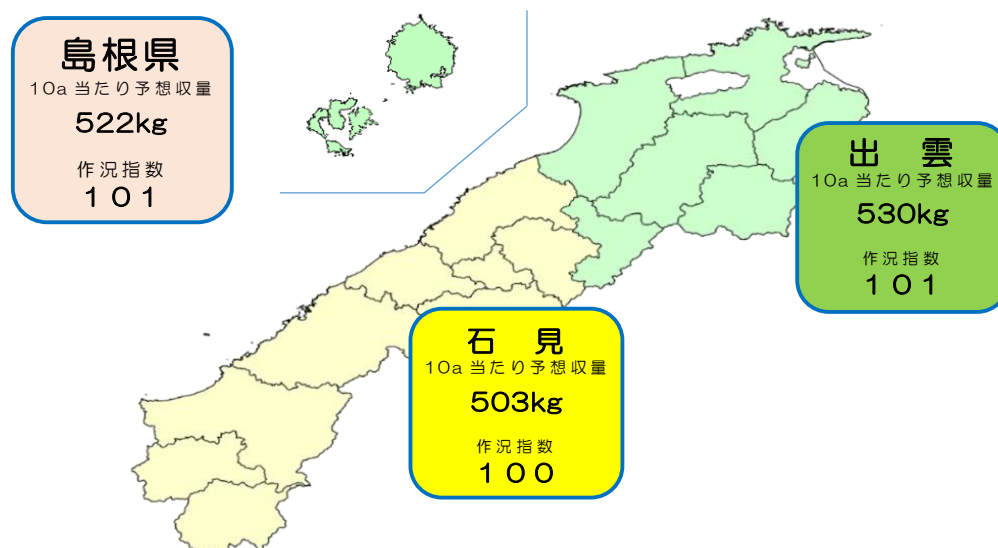
穂数は、田植期以降高温・多照で推移していたものの、7月の低温・日照不足の影響もあり、「平年並み」となりました。1穂当たりもみ数は、7月の日照時間が少なかったものの、8月以降高温、多照に経過したことから「やや多い」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「やや多い」となりました。

登熟は、全もみ数がやや多いことによる相反作用に加え、7月中・下旬の日照不足の影響により「やや不良」と見込まれます。

以上のことから、島根県の10a当たり予想収量は522kgで、前年産に比べ16kgの増加が見込まれます。作柄表示地帯別では、出雲が530kg（前年産に比べ14kg増加）、石見が503kg（同20kg増加）と見込まれます。

また、農家等が使用しているふるい目幅（島根県1.90mm）以上に選別された玄米を基に算出した作況指数は101（平年並み）と見込まれます。作柄表示地帯別では、出雲が101（平年並み）、石見が100（平年並み）と見込まれます。

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（9月15日現在）

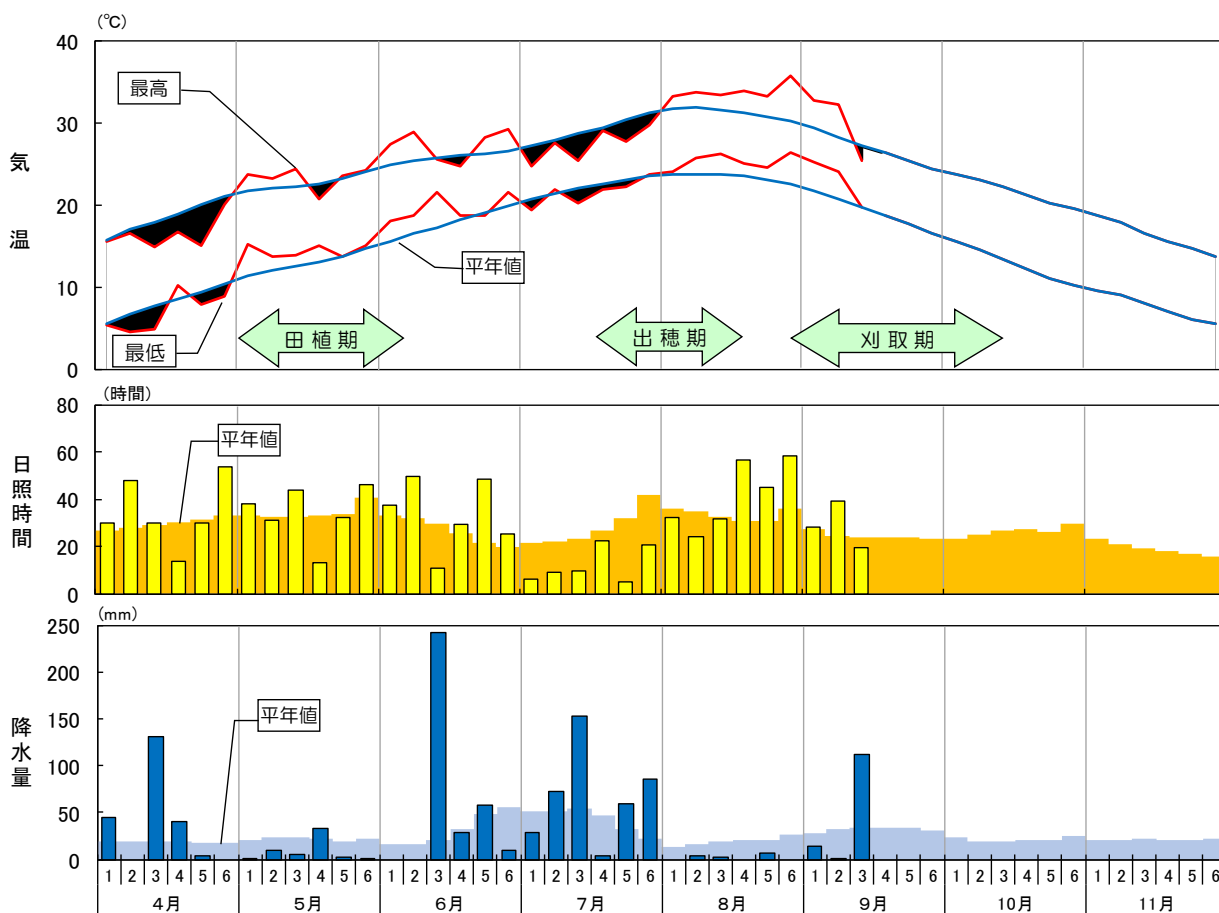


### 3 予想収穫量（主食用）

主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は、8万7,700tと見込まれます。

#### ◎半旬別気象図

#### 松江市の気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

#### お問合せ先

中国四国農政局 島根県拠点 統計チーム 担当：糸井、池田  
 電話：0852-26-7700 FAX：0852-32-2630